

カフェの前に広がる緑と放牧している子牛を眺めながら、訪れたお客さんに  
安らぎと楽しさ、美味しさを味わってもらいたいと願う木下荒野さん

今回は酪農（小布施牧場）と工房兼カフェの経営をしている小布施町の木下荒野（こうや）さん取材してきました。小さい頃から動物好きで、いずれは動物に携わる仕事をしたいとの思いから、縁あって酪農の道へと進んだそうです。カフェの方は主に奥さんとお兄さん夫婦が担当し、家族ぐるみで運営しています。



◇カフェの「milgreen（ミルグリーン）」という名前は、どなたが付けられたんですか？

☆まあ、みんなで決めたんですけど、主に僕の妻（葵さん）が。

どんな想いが込められているんですか？

ミルクを楽しみながら見るグリーン、目の前の緑ですね。あとジャージーミルクと、野菜とか果物とか地元の食材を使ったお店っていう意味があります。なるほど～。

◇荒野さん毎日お忙しいじゃないですか、牛の世話もあるし。お子さんとの触れあう時間はありますか？

☆え～っと基本的にはないので作るようにしています。木曜日は定休日なので、搾乳以外は仕事を入れないようにしています。木曜日は、お子さんや奥さんと過ごす時間を大切にされているんですね。

◇「荒野」さんというお名前が素敵ですよ。どんな意味が込められているかご両親からお聞きしたことはありますか？

☆「荒野」は、荒野を耕せて感じで、まあその通りになったんですけど。どなたが付けられたんですか？父親ですね。

◇お父さんは栗農家さんなんですよ。はい。栗農家を継がずに、酪農のお仕事に就かれたのはどうしてですか？

☆元々動物好きで、とにかく動物と一緒に仕事をしたいと思って、犬の訓練士とか動物園の飼育員とかを目指していました。それで動物関係の大学を探して北海道の酪農学園大学に進んだんですけど。元々は酪農ではなく犬の訓練士とか、飼育員とかのお仕事に就きたかったんですね。実際はちょっと自分で思っていたイメージと違って。そんな中、大学で勉強をしていくうちに酪農っていう世界に惹かれて、東御市の永井農場で研修させていただくことになって、そのご縁の中で就職させていただいたって感じですね。栗畑は父親がずっとやっていたのを、今年から私たち（小布施牧場）が引き継いで、今年の冬に初めて剪定をしました。消毒とか善玉菌蒔いたりするのは父親も一緒にやってもらってます。で、現在に至っているんですね。

◇荒野さんは、大学で北海道にいたり海外にも行ってらしたそうですが、小布施に戻ってきたのはどうしてですか？

☆ずっと小布施で育ってきて、高校まで小布施にいたんですけど、ゆくゆくは小布施に戻ってきたいなあっていうのはありました。その想いは自分でもよく分からないんですけど、たぶん小布施っていう町を誇りに思ってたと思います。もっと小布施を良くしたいなあっていうのもあって小布施に戻ることを決めたんですけど、その時に自分が小布施でできることって何だろうって考えました。すでに酪農をしていたので小布施で酪農ができるのかなって考えると、最初は小布施で酪農をやるのは正直難しいなあと思ったんです。ある程度の牛を飼わないと生計が成り立たないんですけど、それを小布施でやるとなると、貸してくれるような牛舎はないだろうし、大規模酪農を新しく始めるっていても難しいだろうなって思いました。でもやっぱり日本の中でも最小規模の町である小布施で、自分で付加価値つけてやりたいなと思って始めました。ニュージーランドの牧場で働いていた時の放牧酪農が理想です。

◇牛のお世話とか牧場の掃除とか毎日大変だと思うんですけど、何人ぐらいでやってるんですか？

☆基本的に僕1人でやってるんですが、堆肥取りの時は父親もちょっと手を貸してくれます。1日のスケジュールを教えてくださいませんか？はい。朝6時に搾乳を始めて8時頃には終わらせて、諸々の作業を9時までに終えてから、このお店（工房兼カフェ）に来て草刈りやゴミ拾いをやって、土日はシャワーを浴びてからお店に立ちます。平日は今だと、とうもろこしや大豆の種を蒔いたり、栗畑の草刈りとか。栗畑の作業も入ってくるんですね。はい。それでまた夕方5時から搾乳して、7時位には作業を終えたいと思っているんですけど、どうしても延びちゃいますね。やりがいがありますか？はい。みんなは大変って思うじゃないですか。でも僕は大変って思わないんですよ。ニュージーランドで酪農やってるって言う「すごいね。」とか「素晴らしい職業だね。」って言われるんですよ。日本と酪農家としてのステータスが全然違うんですよ。だから僕はそこを変えたくて、絶対変えられると思ってるんで、今やってることは全然大変だとは思わないですし、来年からは新規就農者とか、僕と同じ酪農家とかのパートナーを見つけて、しっかり僕も休めるようにしていきたいなと。サービス業だから土日休みがないとか、そういった概念自体を変えたくて、ちゃんとした会社になりたいと思ってます。なので今は毎日の作業は全然大変だと思わないですね。エライですねえ！！ゆくゆくは福利厚生もしっかりした会社にしたい。週休2日制で、有給休暇が1ヶ月取れて。社長も取って。みんな海外へ遊びに行っ。そういったことが普通にできる環境、ニュージーランドの酪農がそうなんですよね。それには収益面とかしっかりしてるっていうのもそうなんですけど。だから子供達も憧れの職業ですよ、ここでもそういった憧れの職業にしたいなあって思ってます。そうすることでこういった荒れた里山とか綺麗になりますし、小布施町には14町歩(14ha)遊休農地があるっていわれてて、今年、僕は遊休農地を1町歩(1ha)借りたんですけど、僕みたいな農家の方が増えれば日本の遊休農地も解消されるので、その酪農家の憧れっていうのも大事なんですけど、まあ農業っていうものを憧れの職業にしたいなって思って。それによって田園風景が綺麗に保たれると。スイスとかニュージーランドは町中も綺麗で

すけど、一步外に出て田園風景とか山並み見ても綺麗なんですよ。そこには家畜がいて、牛と人との距離感というか共存してる形があって。日本だと牛＝臭いとか、牛舎や高原に行かないと会えない。牛乳はどうやって搾られたものなんだろうって知らなかったり、牛を見たこともないっていうのは寂しいと思いますし、そういった所も変えていかないとたぶんいけないことだと思うので、子牛を眺めながらジェラートを食べてもらうっていう景色にしました。やっぱりアイスクリーム食べてる時に、この元々の原料は牛からできてるって思う人ってほとんどいないと思うんですよ。それも酪農家としては寂しくて、だからそういったものも変えていきたい。本当は町中でジェラート屋をやった方がいいのかもしれないんですけど、敢えてこういう場所を選びました。牛がいたり、スラックラインやハンモックなんかもあって色々遊べますもんね。はい。森林浴も楽しめますし。

◇荒野さんが学生の頃、はまっていたことや、やっていたスポーツとかはありますか？

☆僕はずっとサッカーやスノボをやっていました。大学はサークルでしたけど、サッカーは小4からかな。社会人になってからもやっていたんですけど、小布施に帰ってきてからは牛がいるので、やれてないんです。そうだよな～。それもまたできるようになるといいですね。そうですね、できるようにしたいですね。

◇お家で家事のお手伝いとかはしてますか？

☆お風呂入れたり、お風呂洗ったり、玄関掃除位ですかね。洗濯は回したら回しっぱなしです（笑）。

◇お仕事をするにあたって、こういうのがあればいいな、役立つなっていうのはありますか？

☆ん～（ちょっと考え込んで）、今はないです。困っていることとかってないですか？ ポジティブすぎてないんでよね（笑）。ネガティブに捉えないので、何かあっても忘れちゃうかもしれないです（笑）。いいことですね！この一体「小布施千年の森」っていうんですけど、この森 5ha あって 1ha 伐採したんです。業者の方と一緒に切ったんですけど、業者に 50 万とか結構支払いしてるので、こういったところに補助とか出れば嬉しいですね。イタリアに行った時に川の土手上にテラス、テーブルとイスがあって、そこで綺麗な川を眺めながらワインとかピザとか食べるっていう、その美しい空間とか、そういう価値っていうのを、この小布施で作りたいです。

◇若手農業者として発信したいことはありますか？

☆まず、この会社のモデルを成功させないといけないと思うので、成功させたモデルを町内外に発信していくためにも、まずは自分たちでしっかりと収益を上げて、しっかりした会社経営をしなきゃいけないと思います。その上で日本全国の荒れた里山とか遊休農地の解消の一助になれるような存在になりたいです。若いのにしっかりした考えをお持ちで素晴らしいです！今、日本は観光立国目指しているじゃないですか。小布施も観光立町目指していると思うんですけど、スイスとかは綺麗な田園風景とか広がってて、それはもう欠かせないですよ。日本に来た海外の方とか、小布施町外から来る観光客の方とかって、

町内は当然見ますけど、一步外に出た所も見ると思うんですよね。で、住民の方々の暮らしだとかも見られて、やっぱり僕らが豊かな暮らしをしてないと、「また来たいなあ」という町にならないし、小布施町内に酪農家じゃなくても新規就農者増やせば、この14haの遊休農地もなくなると思うんです。また、町の方とも連携して色々助けてもらったりとか、話を聞いてもらえればいいかな。はい、町の産業振興課の方にはすごく良くしていただいています。小布施町内の無料シャトルバスっていうのを先週催しであって、急遽この道を通るルートにしてくださったりとか、すごく応援してくださってありがたいです。

◇将来に不安はありますか？ ポジティブだからないかな？

☆取りあえずはないです（笑）。でも借金返さないとは思ってます。まずはそこから。そっかあ。頑張ってください！ はい。

松川の川沿いに広がる「小布施千年の森」の一角で営業している「milgreen（ミルグリーン）」。

ぜひ子牛と目の前に広がる森を眺めながら、ジェラートを味わってみてはいかがでしょうか？癒やされますよ～！

今、流行中のスラックラインも楽しめますので、挑戦してみるのもいいかもしれませんね。

壮大な夢を持っている荒野さん。理想の形が現実になるまでは長い道のりかもしれませんが、若い力で頑張ってくださいね！

皆さまのご協力のおかげで「マッキーがおじゃまします！」も今回で10回目の発行となりました。今回、初の農業男子への取材でしたが、男子も新鮮でいいですね。



マッキーがおじゃまします！  
関東農政局長野県拠点